

## 緊急事態

どんなドライバーでも、遅かれ早かれ、緊急事態に陥ることがあるでしょう。どんなに注意を払っていても、問題を引き起こす可能性のある事態は存在します。しかし、用意周到であれば、深刻な結果を避けることができるかもしれません。

運転中に、車両に問題が起こる可能性は、常に存在します。車両の操作マニュアルで、推奨されているメンテナンスのスケジュールに従うべきです。このような予防策に従うと、車両に問題が起こる確率が大幅に減少します。起こりやすい故障の例と、それが起こったときに取る措置は次のとおりです。

### ブレーキの故障

ブレーキが効かなくなったら、

- ブレーキペダルを何度か踏みます。これで、ブレーキの圧力を十分ためることができ、停止できることがよくあります。
- これがうまくいかなければ、サイドブレーキを使います。後部のタイヤがロックして横滑りしないよう、ゆっくりとサイドブレーキを使用します。もし横滑りだしたら、ブレーキを解除できるよう準備します。
- それでもうまく行かない場合は、ギアを低速に変えて、停止するのに安全な場所を探します。必ず車両が車道から離れるようにします。ブレーキなしで、車両を運転してはいけません。

### タイヤのパンク

突然タイヤがパンクしたら、

- ハンドルをしっかりと握り、車両をまっすぐ走行させます。
- 徐々に減速します。アクセルペダルから足を上げ、ブレーキを軽く踏みます。
- できる限り、車道で停止しないようにします。安全な場所まで車両を移動させ、車道から離れます。

## 電気系の故障

運転中にエンストを起こしたら、

- ハンドルをしっかりと握ります。方向転換するのは困難かもしれません、力を入れると方向転換できます。
- 道路脇に車両を寄せます。ブレーキはまだ効きますが、強く踏まないと停止できないかもしれません。

## ヘッドライトの故障

突然ヘッドライトが消えたら、

- 数回、ヘッドライトのスイッチをつけたり消したりしてください。
- これでうまくいかなければ、非常用点滅ライト、方向指示器、または霧用ライト（装備されていれば）をつけてます。
- できるだけ早く道路脇に車両を寄せます。

## アクセルペダルが踏んだまま上がらない

この状態では、速度が上昇し続けます。

- 道路から目を離さないようにします。
- 速やかにギアをニュートラルに入れます。
- 安全なときに、道路脇に車両を寄せます。
- エンジンを切れます。

## 衝突を避ける

衝突が起りそうなとき、多くのドライバーはパニックに陥り、どうしたらよいかわからなくなります。たいていの場合、衝突を避けたり、衝突のインパクトを減少できるようなことがあります。衝突を避けるには、停止、方向転換、加速という3つのオプションがあります。

## 速やかに停止する

新型の車両の多くにはアンチロックブレーキシステム [antilock braking system (ABS)] が装備されています。ABS の使い方について、車両の操作マニュアルを必ず読みます。ABS を使えば、横滑りしないで停止できます。

ABS 装備の車両 - 車両にアンチロックブレーキシステムが装備されており、速やかに停止しなければならない場合、

- できるだけ強くブレーキペダルを踏み続けます。
- ABS が作動すると、ブレーキペダルが押し上がるのを感じますが、ペダルを踏み続けたままでいなければなりません。ABS は、ブレーキペダルを踏んだ状態でなければ作動しません。

ABS が装備されていない車両 - 速やかに停止しなければならないが、車両にアンチロックブレーキシステムが装備されていなければ、

- ブレーキを強く踏みすぎると、横滑りを起こす可能性があります。
- ロックしない程度で、できるだけ強くブレーキを踏みます。
- ブレーキがロックしたら、車両が横滑りするのがわかります。すぐにブレーキペダルから足を上げます。
- 横滑りがとまつたらすぐに、もう一度ブレーキを踏みます。車両が停止するまで、これを繰り返します。

## 速やかに方向転換する

衝突を避けるために、方向転換も考慮すべきです。たいていの場合、方向転換の方が停止より速やかにできます。

ハンドルをしっかりと握っていることを確認します。方向転換や車線変更をした後も、車両をコントロールし続けられる準備ができていなければなりません。ある衝突事故を回避するために方向転換して、結果的に

別の衝突事故に関わってしまうドライバーも少なくありません。常に車両を走行させたい方向にハンドルをきります。

**ABS 装備の車両 -** ABS が装備されていれば、横滑りせずにブレーキを踏みながら、方向転換することができます。これは、方向転換して、停止または減速しなければならない場合に、非常に役立ちます。

**ABS が装備されていない車両 -** ABS が装備されていなければ、他の方法で速やかに方向転換しなければなりません。ブレーキペダルを踏み、一度離してからハンドルを切れます。ブレーキを踏むと車両は速度を落とし、前輪により重量がかかり、速やかに方向転換することができます。車輪が横滑りするので、ブレーキを踏んでいる最中に前輪をロックさせたり、急にハンドルを切ってはいけません。

通常、他の車両に正面衝突するよりも、車道からそれた方が安全です。

## 加速

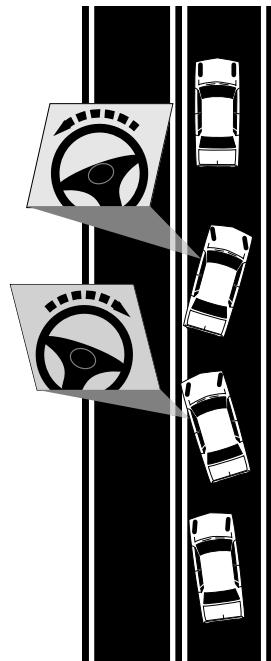
衝突事故を避けるため、加速することが最良、あるいは必要なときがあります。これは、他の車両があなたの車両の側面あるいは後部に今にも衝突しそうなときで、危険を回避するため前方に十分スペースがある場合です。危険な状況を回避したら、忘れずに減速しなければなりません。

## 横滑りの対処

普通の状況下では安全な道路でも、路面が濡れたり、雪や氷で覆われているときには危険になります。また、普通の状況下でも高速で走行していると、急な方向転換や停止の際に横滑りを起こす危険性が増大します。タイヤと路面の摩擦がなくなったときに、横滑りが起ります。横滑りしている車両をコントロールするのは不可能なので、まず横滑りを避けるのが最良の方法です。状況に適さない、速い速度で運転しているドライバーが、よく横滑りを起こしています。

あなたの車両が横すべりをはじめたら、

- ブレーキから足を離します。車両の速度が落ちるまでブレーキは作動せず、踏み続けていると更に横滑りがひどくなることがあります。
- ハンドルを切れます。車両を走行させたい方向にハンドルを切れます。車両の向きがまっすぐになったら、即座に逆方向にハンドルを切れます。こうしないと、車両はその逆方向に回転し、新たに横滑りを始めてしまうかもしれません。
- 続けてハンドルを切れます。車両のコントロールを回復して直進するまで、引き続き、左右にハンドルを切れます。



## 衝突の際の自己防衛

いつも衝突事故を避けられるとは限りません。衝突されないよう最善を尽くしてもだめな場合は、衝突の際、できるだけ軽傷で済むようにします。最も重要なのは、ラップベルトとショルダーベルトを正しく着用することです。シートベルトのほか、重傷を避けるための方法を次に説明します。

- 後部追突 - 後部に追突されたら、あなたの体は後ろ向きに打ち付けられます。シートの背に体をぴったりつけ、頭部をヘッドレストにもたせかけます。勢いで押されて他の車両に衝突しないよう、ブレーキを踏めるようにしておきます。

- **側面衝突** - 側面に衝突されたら、あなたの体は衝突された方向に投げ出されます。この状況では、エアバッグは役に立ちません。ハンドルの前にとどまるには、ラップベルトとショルダーベルトが必要です。他の車両に衝突しないよう、ハンドルを切ったり、ブレーキを踏めるようにしておきます。
- **前部追突** - 今にも前部に衝突されそうなとき、正面衝突よりもかする程度の衝突ですむように努めてください。これは、衝突が起きそうなとき、ハンドルを切ることを意味します。最悪の状況でも、かすった程度ですむか、あるいはまったく衝突しないですむかもしれません。エアバッグが装備されていれば膨れ上がりますが、衝突の後しばむので、他の車両に衝突しないようにしてください。ハンドルの前にとどまるために、また、二次衝突の場合にあなたの体を保護するため、ラップベルトとショルダーベルトを着用していかなければなりません。

## 衝突

あなたが衝突事故に関わっているか、緊急車両がまだ現場に到着していない場合以外は、衝突事故現場で停止してはいけません。自分の運転に注意しながら走行を続け、また車道内あるいは道路脇の人にも注意します。衝突事故現場、火事、あるいはその他の災害現場を見ようとして、その現場に向かってはいけません。警察、消防車、救急車、レッカーカー、あるいはその他の救出車両の通行の邪魔になる恐れがあります。警察官、消防士、その他、事故現場で交通整理をすることが認められた人すべての指示に従わなければなりません。消火用ホースの上を運転することは違反です。このようなことをすると、ホースをいためたり、消防士に怪我をさせたり、消火の妨害になります。

あなたがどんなに優れたドライバーでも、衝突事故に関わることがあるかもしれません。事故に関わったら、必ず停止しなければなりません。駐車してある車両に衝突したら、その車両の所有者を見つけなければなりません。もし負傷者や死亡者がでたら、警察に通報しなければなりません。負傷者や死亡者がでた事故にあなたの車両が関わっており、警察があなたの報告を聞き、必要な情報を入手するまでは、衝突事故現場を離れると犯罪とみなされます。

車両に基本的な非常用セットを用意しておくとよいでしょう。このようなセットには、緊急発火装置（フレア）、応急手当のセット、および基本的なツールが入っています。

## 衝突事故現場で

- すべての衝突事故において、損傷が車両やその他の所有物のみに限られる場合は、運転者は車両を道路、フリーWAY、路肩、または中央分離帯から、出口ランプの路肩、側道、交差道路、またはその他停車に適した場所にきるだけ早く移動させます。
- その他すべての衝突事故では、衝突事故現場、またはそのそばに車両を停止させます。車両を移動できるなら、他の車両の通行を妨げたり、新たに衝突事故が起きないように、道路脇へ寄せます。
- 車両が走行中の車線内で、立ったり歩いたりしてはいけません。他の車両に追突される恐れがあります。
- 事故車のイグニションをオフにします。事故車の周囲でたばこを吸ってはいけません。ガソリンが漏れている恐れがあり、火事の危険性があります。
- 路上に電線の付いた電柱が倒れている場合は、近づいてはいけません。
- 走行中の車両がその事故に巻き込まれないように注意してください。緊急発火装置または警告用機器を使って、他の車両に衝突事故の発生を合図し、注意を促します。

## 負傷者が出たら

- 救助を求めます。警察および緊急医療 / 救出隊が通報を受けたことを確認します。火事が発生していたら、警察にその旨を伝えます。
- 負傷者が燃えている車両の中にいるか、または即座に他の車両に追突されたりする危険性がある場合以外は、負傷者を動かしてはいけません。動かすと、傷害を悪化させる恐れがあります。
- まず、立ち上がりつたり話をしていない人を救助します。呼吸しているかを調べ、それから出血の有無を調べます。

- 出血していたら、傷口を直接、手あるいは布で圧迫します。傷口に圧力を加えると、重傷でも止血、または出血量を減らすことができます。
- 負傷者にはたとえ水でも、飲料を与えてはいけません。
- 負傷者がショック状態に陥ることを防ぐため、毛布またはコートで体を覆って温めます。

## 衝突事故の報告

- 負傷者を始めとして、衝突事故に関わった人および目撃者全員の氏名と住所を入手します。
- 衝突事故に関わった他のドライバーと、氏名、住所、運転免許証番号、車両の情報（ナンバープレート、メーカー、モデル、製造年）、保険会社と保険証番号（あれば）の情報を交換します。
- 衝突によって車両が受けた損害を記録します。
- 要請を受けたら、警察あるいは緊急担当員に情報を提供します。
- 駐車してある車両に衝突した場合は、その所有者を見つけます。所有者が見つからないときは、見つけやすい場所に、あなたの連絡先および事故発生の月日と時間を記したメモを残しておきます。
- 負傷者または死亡者が出了場合、または一個人の所有物に 700 ドル以上の損害が出た場合で、警察官による通報が行なわれなかった場合は、あなたが 4 日以内にワシントン州運輸局 (Washington Department Of Transportation) 宛てに衝突事故報告書 (Collision Report form) を使用して通報しなければなりません。報告書は、[www.wsdot.wa.gov/mapsdata/tdo](http://www.wsdot.wa.gov/mapsdata/tdo) で入手するか、(360) 570-2355 まで電話でご請求ください。